

30人以下学級の早期実現を求める意見書

今、学校教育は、いじめ、不登校、学級崩壊、高校中退など、きわめて憂慮すべき事態となっています。こうした事態に対し、教師と児童・生徒たちの触れあいを深め、一人一人を大切に教育を実現することが強く求められています。

このたび、中央教育審議会の「地方教育行政のあり方」への答申の中で、小中学校での「1学級40人」の画一的な編成を下回る弾力的な措置を都道府県の意向でできるよう提言されたところがあります。

よって、政府は、国民の多くが望んでいる30人以下学級を早期に実現されるよう要求します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

2000年9月27日
沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣
文部大臣
大蔵大臣